

ひめじ創生戦略

～ふるさと・ひめじにプラスワン～

〔アクションプラン〕



《 目 次 》

Ⅰ. ひめじ創生戦略 アクションプラン	1
1. アクションプラン策定の目的・位置づけ	1
2. ひめじ創生に向けた事業展開の考え方	2
3. 成果指標・重要業績評価指標（KPI）	3
4. 課題に対応する新規・拡充事業	5
5. 個別の事業・事業内容・成果指標・重要業績評価指標（KPI）	7
6. 推進体制	23
(1) ひめじ創生推進本部	23
(2) ひめじ創生戦略会議	23
(3) 市民対話の充実	23
(4) 進行管理	23
【資料】	
・用語解説（50音順）	25

I ひめじ創生戦略 アクションプラン

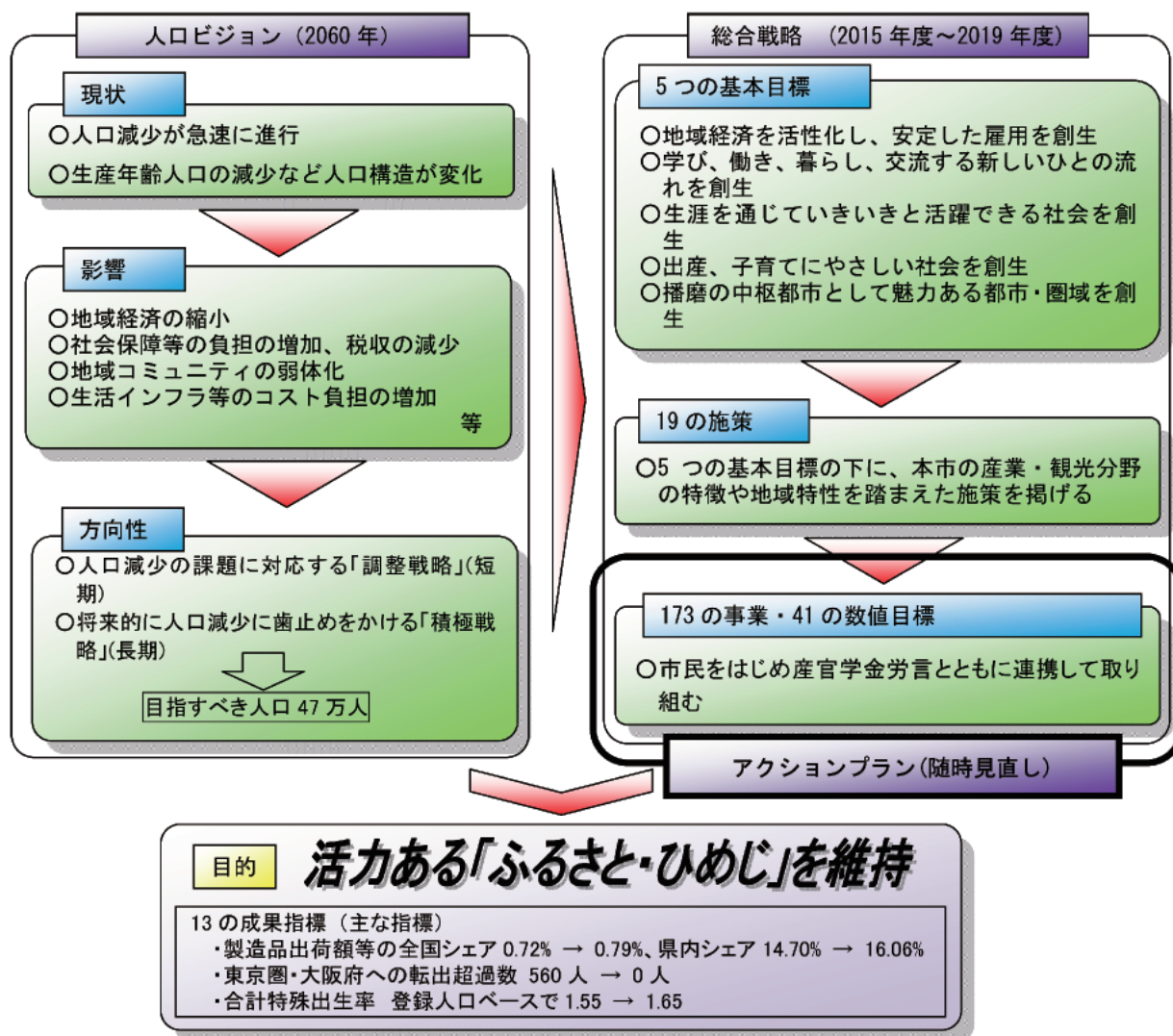
1. アクションプラン策定の目的・位置づけ

本市は、これまでも総合計画「ふるさと・ひめじプラン2020」において、平成32年（2020年）に、現在の人口規模である53万人を維持することを目指し、総合的に事業を展開している。

ひめじ創生戦略では、平成72年（2060年）というさらに長期的な展望から人口減少の緩和と地域の活性化に取り組むこととしており、具体的な行動計画である〔アクションプラン〕において、人口問題に重点化した44の新規事業と33の拡充事業を含む173の事業を掲げる（再掲を除く）。

事業と数値目標については、毎年度のPDCAサイクルによる進行管理の中で、取組み内容と数値目標の達成状況等をチェックし、バージョンアップしながら戦略を着実に推進する。

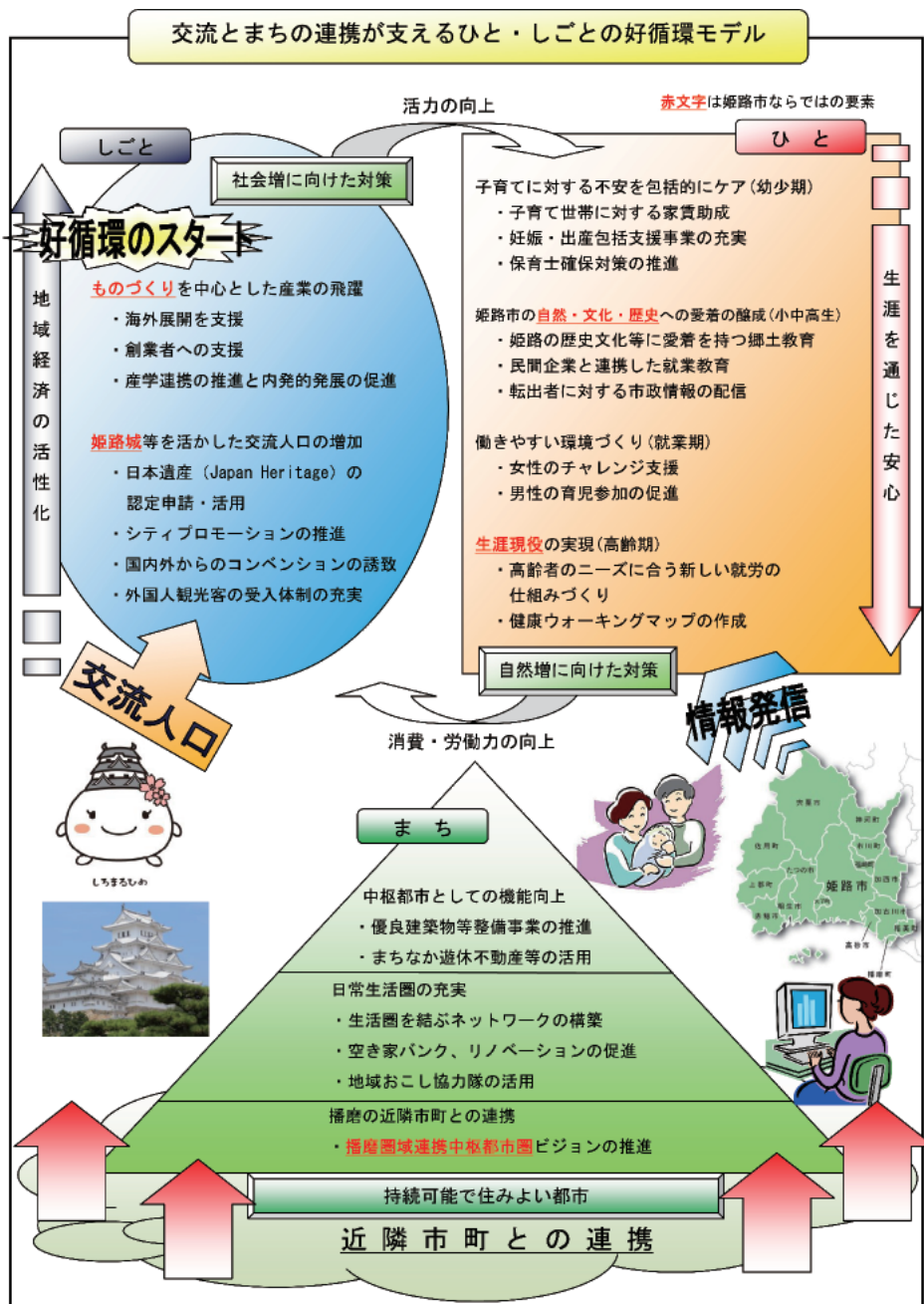
ひめじ創生戦略のイメージ図



2. ひめじ創生に向けた事業展開の考え方

ひめじ創生の実現に向けて、人口減少の緩和と人口減少社会でも活力維持のため、ものづくり産業及び姫路城等による本市の強みを活かした地域経済の活性化を好循環のスタートと位置づけ、重点的に推進し、社会増に向けた対策に取り組むとともに、交流人口の増加を図り活力向上を目指す。これにより得られる財政力等を活かして、ライフステージに応じた包括的な支援を行い、生涯を通じた安心を提供し、自然増に向けた対策に取り組む。さらに、これらにより創出される「暮らしやすい姫路」等を情報発信し、好循環を加速させる。

そのような「ひと」と「しごと」の好循環を支えるため、近隣市町との連携により、持続可能で住みよい都市を目指した「まち」づくりを推進する。



3. 成果指標・重要業績評価指標（KPI）

総合戦略において掲げた5つの基本目標及び19の施策について、施策ごとに具体的な事業を設定し取り組んでいく。事業の実施にあたっては、基本目標ごとに成果指標（計13指標）を、施策ごとに重要業績評価指標（KPI）（計28指標）を設定する。

成果指標：受益者（市民等）からとらえた具体的な効果や効用を基準とする指標
 重要業績評価指標（KPI）：目標の達成度合いを計る定量的な指標
 成果指標又は行政活動そのものの結果に係る指標

●各成果指標、KPIにおける数値は、特に記載がない場合は平成31年（度）又は平成32年3月末時点の数値、カッコ内の数値は、平成26年（度）又は平成27年3月末の数値

【基本目標1】 安定した地域経済を活性化し、雇用を創生	【基本目標1の成果指標】	
	■製造品出荷額等の全国シェア、県内シェア：全国シェア：0.79%、県内シェア：16.06% （H22～26年平均値：全国シェア：0.72%、県内シェア：14.70% [H26年は速報値]）	
	■従業者数（製造業）：46,050人（H26年速報値：46,050人）	
	■工場立地件数（工場立地促進制度の適用件数） ：H28～31年度平均値で30件（H24～26年度平均値：27件）	
	施策	重要業績評価指標（KPI）
①ものづくり力の強み、起業家支援、産官学等連携を活用した競争力の強化	<input type="checkbox"/> 創業者に対する支援数：H28～31年度累計300人（73人）	
②企業立地の促進による雇用の安定	<input type="checkbox"/> 工場用地ライブラリー制度の登録件数：10件（8件）	
③職業教育と就業機会の充実	<input type="checkbox"/> 市立3校の就業体験の生徒数：100人（82人）	
④地域の特色を活かした農林水産業等の振興	<input type="checkbox"/> 「豊穡の国・はりま」のブランド認証件数：184件（未実施）	
【基本目標2】 新しい学び、働き、暮らしの潮流を創生	【基本目標2の成果指標】	
	■東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）・大阪府への転出超過数：0人（560人）	
	■総入込客※数：1,000万人（914万8千人）	
	施策	重要業績評価指標（KPI）
	⑤都市イメージの向上	<input type="checkbox"/> 姫路観光コンベンションビューロー「ひめのみち」ページビュー数：800万件（658万8千件） <input type="checkbox"/> ジュニア姫路検定の参加者数：2,100人（1,912人）
	⑥MICE※の推進	<input type="checkbox"/> コンベンション※等の開催支援数：90件（71件）
	⑦インバウンド※を踏まえた観光戦略の展開	<input type="checkbox"/> 観光案内所（姫路観光ナビポート）での外国人観光客対応者数：20,000人（12,000人）
	⑧移住・定住支援の充実	<input type="checkbox"/> 地域おこし協力隊の受入人数：H28～31年度累計8人（未実施）
	⑨優秀な人材の確保・活用と多様な人々の就労や登用の支援	<input type="checkbox"/> 阪神地域の大学内合同就職説明会の参加企業数：15社（未実施）

●各成果指標、KPIにおける数値は、特に記載がない場合は平成31年（度）又は平成32年3月末時点の数値、カッコ内の数値は、平成26年（度）又は平成27年3月末の数値

【基本目標3】 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生	【基本目標3の成果指標】	
	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢者（65～74歳）の有業率※：H29年に32%（H24年：30.6%） ■健康寿命：H31年度までに1年延伸（H25：男性77.84歳、女性82.45歳） 	
	施策	重要業績評価指標（KPI）
	⑩社会貢献活動の促進	<input type="checkbox"/> 生涯現役人材バンクの活用件数：75件（46件）
【基本目標4】 出産、子育てにやさしい社会を創生	【基本目標4の成果指標】	
	<ul style="list-style-type: none"> ■合計特殊出生率：H31登録人口ベースで1.65（H26登録人口ベース：1.55） ■女性（30～39歳）の有業率：H29年に71%（H24年：67.2%） ■「ワーク・ライフ・バランス」の認知度：H29年度に70%（H23年度：46.2%） 	
	施策	重要業績評価指標（KPI）
⑪高齢者の就業・起業への支援	<input type="checkbox"/> シルバー人材センターの会員数：3,590人（3,265人）	
⑫健康づくり活動の推進	<input type="checkbox"/> ニュースポーツ普及事業助成数：43校・地区（H24～26年度平均値：33.7校・地区） <input type="checkbox"/> 介護予防自主活動グループ数：520グループ（197グループ） <input type="checkbox"/> 要介護・要支援認定者に占める要介護認定者数の割合：60.7%（63.2%）	
【基本目標5】 魅力ある都市・圏域を創生	【基本目標5の成果指標】	
	<ul style="list-style-type: none"> ■播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の進捗率：100%（未実施） ■公共交通機関の乗車人員（1年間に公共交通機関に乗車した人員の1日平均）：165,859人（156,102人） ■中心市街地の居住者数：8,894人（H22～26年度末平均値：8,732人） 	
	施策	重要業績評価指標（KPI）
	⑬ライフステージに応じた切れ目のない支援	<input type="checkbox"/> 妊婦本人への面接率：100%（96.8%） <input type="checkbox"/> 保育所等利用待機児童数：0人（H27.4.1：69人） <input type="checkbox"/> ファミリーサポートセンターの提供会員及び両方会員数：790人（718人）
⑭子ども・子育てを見守る地域活動の維持	<input type="checkbox"/> コミュニティ活動イベント開催助成事業の実施地区数：全72地区（64地区） <input type="checkbox"/> スクールヘルパー※への登録者数：16,000人（15,887人）	
⑮仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の回数：10回（8回）	
⑯連携中枢都市圏※構想による圏域の活性化	<input type="checkbox"/> 播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の進捗率：100%（未実施）	
⑰地域課題克服による日常生活圏の充実	<input type="checkbox"/> 空き家バンク※登録物件数：40件（未実施） <input type="checkbox"/> 買物支援サービス事業の登録者数：50人（H27.4.1：38人） <input type="checkbox"/> 地域活動に対する支援（地域防災訓練）件数：700件（503件）	
⑱行政マネジメントの強化	<input type="checkbox"/> 中心市街地商店街の空き店舗減少数：9店舗減少（37店舗） <input type="checkbox"/> 地方創生にかかる意見聴取者数：H28～31年度累計400人（未実施） <input type="checkbox"/> 行政情報分析基盤を活用する組織数：H29～31年度累計9部署（未実施）	

4. 課題に対応する新規・拡充事業

ひめじ創生戦略の目的である活力ある「ふるさと・ひめじ」を維持するため、将来的に人口減少に歯止めをかける「積極戦略」に取り組むとともに、直面する人口減少の課題に対応し、活力を維持するための「調整戦略」に重点的に取り組む。そのため、現在における課題を明確にし、その対策を再検討した結果、既存事業に併せて、新規44事業及び拡充33事業を実施する。

【積極戦略・社会増対策】

課題	対策	施策（基本目標）	事業名（◎は新規、○は拡充）
1 若者の地元就職の減少	<ul style="list-style-type: none"> 若者が活躍できる場をつくる 地元企業への意識づくり 	③職業教育と就業機会の充実 （1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生） ②企業立地の促進による雇用の安定 （1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生）	○高校生を対象としたインターンシップの促進 ○民間企業と連携した就業教育 ◎主力製造拠点を誘導する立地戦略の検討・推進 ◎企業の本社機能の誘致等に向けた取り組みの推進 ○企業誘致環境調査に基づく企業立地の促進 ○アンケート等による企業立地動向等の調査とそれに対応した企業訪問の強化
2 大都市への転出超過	<ul style="list-style-type: none"> 大都市と比較して悪いイメージを払拭 郷土意識の醸成 UIJ※ターンの支援 	⑤都市イメージの向上 （2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生） ⑧移住・定住支援の充実 （2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生）	◎日本遺産（Japan Heritage）の認定申請・活用 ◎シティプロモーションの推進 ◎スポーツ・コミッションの設置 ◎東京オリンピック・パラリンピック開催等に関する取り組みの推進 ◎（仮称）福泊運動公園の整備推進 ◎地域貢献納税感謝状の贈呈 ○地域夢プラン事業の拡充 ○姫路の歴史文化等に愛着を持つ郷土教育 ○ジュニア姫路検定の実施 ◎暮らしやすさのアピール ◎地域おこし協力隊の活用 ◎空き家バンク、リノベーション※の促進

【積極戦略・自然増対策】

課題	対策	施策（基本目標）	事業名（◎は新規、○は拡充）
3 子育てに対する不安	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代に対する包括的なケア 子育て施設等の充実 	⑬ライフステージに応じた切れ目のない支援 （4 出産、子育てにやさしい社会を創生）	◎第2子の保育料軽減事業の実施 ◎子育て世帯に対する家賃助成 ○妊娠・出産包括支援の充実 ○放課後児童健全育成事業の充実 ○保育士確保対策の推進 ○緊急時等における子育て支援の充実 ○地域子育て支援拠点事業の充実 ○児童センターを活用した子育て支援事業の充実
4 仕事と家庭に対する負担感の増大	<ul style="list-style-type: none"> 女性が働きやすい環境づくり 男性の家事・育児参加 企業に対する啓発 	⑮仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 （4 出産、子育てにやさしい社会を創生）	◎男性の育児参加の促進

【調整戦略】

	課題	対策	施策（基本目標）	事業名（◎は新規、○は拡充）
5	地域経済の縮小	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり企業の技術力と生産性の向上 地域企業の海外展開を支援 創業者への支援 播磨圏域の機能の維持・向上 	<ul style="list-style-type: none"> ①ものづくり力の強み、起業家支援、産官学等連携を活用した競争力の強化（1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生） ④地域の特色を活かした農林水産業等の振興（1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生） ⑯連携中枢都市圏構想による圏域の活性化（5 播磨の中核都市として魅力ある都市・圏域を創生） ⑱高次都市機能の集積等による中心市街地活性化の強化・推進（5 播磨の中核都市として魅力ある都市・圏域を創生） 	<ul style="list-style-type: none"> ○海外展開への支援 ○新製品・新技術開発への支援 ○産学連携の推進と市内企業の内発的発展の促進 ◎「豊穡の国・はりま」のブランド推進 ◎姫路木綿復活プロジェクトへの支援 ◎中央卸売市場の施設整備 ○（公財）姫路・西はりま地場産業センターの事業推進 ○地場産業の高付加価値化の推進 ○大学と連携した水産資源の養殖技術研究 ◎特区によるコミュニティサイクルの推進 ◎優良建築物等整備事業の推進 ◎JR姫路駅南側の環境整備 ◎まちなか遊休不動産※等の活用促進 ◎Wi-Fiサービスの向上 ○回遊性を高める大手前通りの再整備
6	社会保障等の財政需要の増大、税収の減少	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりの推進 扶助費の抑制 効率的な行政運営 	<ul style="list-style-type: none"> ⑫健康づくり活動の推進（3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生） ⑲行政マネジメントの強化（5 播磨の中核都市として魅力ある都市・圏域を創生） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎健康ウォーキングマップ作成事業 ◎在宅医療・介護の連携推進 ○地域包括支援センターの充実 ◎姫路市公共施設等総合管理計画の推進 ◎業務改革に向けた行政情報分析基盤の構築 ◎地方創生に関する市民対話の充実 ◎ひめじ創生チャレンジ事業
7	地域コミュニティの弱体化	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題解決の担い手育成 地域課題を克服 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩社会貢献活動の促進（3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生） ⑭子ども・子育てを見守る地域活動の維持（4 出産、子育てにやさしい社会を創生） ⑰地域課題克服による日常生活圏の充実（5 播磨の中核都市として魅力ある都市・圏域を創生） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域の新しい担い手づくりの推進 ◎空き家バンク、リノベーションの促進 ◎地区計画制度の活用 ◎特別指定区域制度の活用 ◎夢前スマートインターチェンジの利活用の促進 ◎下水汚泥の有効活用 ◎家島・坊勢島間の離島航路の維持 ◎坊勢地区医療施設の再整備 ◎坊勢旅客ターミナルの施設整備 ○環境意識の啓発事業 ○買物支援サービス事業 ○生活圏を結ぶネットワークの構築 ○水道事業経営戦略に基づく施設耐震化等の推進 ○消防団活動の活性化の推進
8	交流人口対策	<ul style="list-style-type: none"> 姫路城等を活かした観光戦略 外国人観光客の受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥MICEの推進（2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生） ⑦インバウンドを踏まえた観光戦略の展開（2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎文化・コンベンション施設の設置・活用 ◎（仮称）姫路市観光振興計画の策定及び推進 ◎「姫路城プラスワン」作戦の展開 ◎日本城郭連携PR事業 ◎姫路港大型客船入港推進事業 ◎観光に関する人材育成 ○外国人観光客の受入体制の充実 ○広域観光ルートの検討・活用
9	労働人口の減少	<ul style="list-style-type: none"> 人材の確保 女性・高齢者の活躍支援 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨優秀な人材の確保・活用と多様な人々の就労や登用の支援（2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生） ⑪高齢者の就業・起業への支援（3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎男女共同参画等を推進する企業への優遇策の検討 ○阪神地域の大学への姫路市内企業のPR ○合同就職説明会・面接会等の開催支援 ○小中一貫教育の推進 ○魅力ある学校図書館づくり ○大学研究活動等への支援 ◎高齢者のニーズに合う新しい就労の仕組みづくり

5. 個別の事業・事業内容・成果指標・重要業績評価指標（KPI）

基本目標1：地域経済を活性化し、安定した雇用を創生

【成果指標】（現在値）（平成31年度末時点の数値）

製造品出荷額等の全国シェア、県内シェア

全国シェア：0.72%（H22～26年平均値 [H26は速報値]） → 全国シェア：0.79%

県内シェア：14.70%（H22～26年平均値 [H26は速報値]） → 県内シェア：16.06%

従業者数（製造業） 46,050人（H26年速報値） → 46,050人

工場立地件数（工場立地促進制度の適用件数）

27件（H24～26年度平均値） → 30件（H28～31年度平均値）

施策①：ものづくり力の強み、起業家支援、産官学等連携を活用した競争力の強化

【重要業績評価指標（KPI）】（現在値）（平成31年度末時点の数値）

創業者に対する支援数 73人（H26年度） → 300人（H28～31年度累計）

事業・事業内容

㊦海外展開への支援（産業振興課）

- ▶ 国外展示会出展への支援
- ▶ 外国語HP新規作成に対する支援
- ▶ 海外展開に対する相談
- ▶ 海外販路拡大セミナーの開催
- ▶ グローバル人材養成セミナーの開催（本掲）

㊦新製品・新技術開発への支援（産業振興課）

- ▶ 新製品・新技術の開発への支援（ものづくり開発奨励事業）
- ▶ 特許取得への支援
- ▶ ビジネスプラン事業化推進事業の実施

㊦産学連携の推進と市内企業の内発的発展の促進（産業振興課）

- ▶ 兵庫県立大学産学連携・研究推進機構との連携・協力
- ▶ インキュベーションセンター等の活用促進
- ▶ ものづくり支援センターにおける産学連携の促進
- ▶ 産官学連携による人材育成（講演会・セミナー）等の実施
- ▶ 企業・大学・学生マッチング in HIMEJI の開催
- ▶ 産官学連携連絡会の開催

・新製品等の市場開拓支援（産業振興課）

- ▶ 国際フロンティア産業メッセ・新価値創造展への出展
- ▶ マーケティング調査への支援
- ▶ 展示商談会等への開催支援

・国際規格等認証取得支援事業（産業振興課）

- ▶ 国際規格等認証取得への支援

- ・成長分野への参入支援（産業振興課）
 - ▶科学技術基盤（放射光施設、スーパーコンピュータ）の活用促進
 - ▶イノベーションセミナーの開催
 - ▶科学技術基盤やものづくりに関する情報番組の放映、情報誌の発行
- ・姫路ものづくり支援センターの機能充実と活用促進（産業振興課）
 - ▶ものづくりに関する技術的な相談
 - ▶産学連携の支援や産産（異業種間）のビジネスマッチングへの支援
- ・地域産業資源を活用した事業への支援（農政総務課・水産漁港課・産業振興課）
 - ▶地域産業資源を活用した事業への支援
 - ▶JR姫路駅観光案内所での地場産品等の展示
- ・創業者への支援（産業振興課）
 - ▶創業を希望する者に対するセミナーの開催及び相談窓口の設置
 - ▶中心市街地活性化基本計画区域内での創業に対する支援
- ・起業家支援資金制度の制度充実と活用促進（産業振興課）
 - ▶起業家への低利融資の実施
 - ▶起業家への信用保証料の一部助成
- ・産官学の協働と交流の促進（産業振興課）
 - ▶はりま産学交流会の活動支援
 - ▶ビジネスマッチングを支援する機関（他都市のものづくり相談窓口等）との連携

施策②：企業立地の促進による雇用の安定

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
工場用地ライブラリー制度の登録件数	8件（H26年度）→	10件

事業・事業内容

- ⑧主力製造拠点を誘導する立地戦略の検討・推進（企業立地推進課）
 - ▶主力製造拠点（本社機能及び研究所を備えた工場〔マザー工場〕）に対する助成を充実
- ⑨企業の本社機能の誘致等に向けた取組みの推進（企業立地推進課）
 - ▶兵庫県と共同で地域再生法に基づく地域再生計画の策定・推進
- ⑩企業誘致環境調査に基づく企業立地の促進（企業立地推進課）
 - ▶播磨圏域市町の工場適地の状況等を調査・分析し、有効な連携方策等を検討
- ⑪アンケート等による企業立地動向等の調査とそれに対応した企業訪問の強化（企業立地推進課）
 - ▶播磨圏域企業の投資動向についてのアンケート及び企業誘致活動
- ・工場立地促進制度（奨励措置・低利融資）の充実（企業立地推進課）
 - ▶企業の本社機能や主力製造拠点に対する支援策のさらなる拡充
- ・工場用地ライブラリー制度の充実（企業立地推進課）
 - ▶工場用地を求めている者と工場用地を売却したい者の情報について登録・情報提供
- ・金融機関との連携による企業立地の推進（企業情報の収集等）（企業立地推進課）
 - ▶政府系金融機関との連携による中小企業に対する低利融資制度の推進

- ・大規模民有地（遊休地）の活用（企業立地推進課）
 - ▶地権者との連携による大規模民有地（遊休地）への企業立地の誘導
- ・行政手続のワンストップ化の推進（企業立地推進課）
 - ▶立地企業のワンストップ窓口となり、行政手続をスピードアップ化
- ・未利用地調査等による工場用地の発掘（企業立地推進課）
 - ▶市域内の遊休地や工場適地の土地調査
- ・企業立地促進法に基づく基本計画の推進（企業立地推進課）
 - ▶企業立地促進法に基づく基本計画の推進により企業立地を促進
- ・地区計画制度等による内陸部への工場等の立地誘導（企業立地推進課）
 - ▶地区計画制度や開発許可制度における立地基準の活用により内陸部の工場立地を促進
- ・企業立地に関する効果的な情報発信（企業立地推進課）
 - ▶工場立地促進制度の拡充等を盛り込んだ企業立地ガイドやPR用DVDを活用した情報発信

施策③：職業教育と就業機会の充実

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
市立3校の就業体験の生徒数	82人（H26年度）→	100人

事業・事業内容

- ⑤高校生を対象としたインターンシップの促進（学校指導課）
 - ▶高校生を対象としたインターンシップのマッチング
- ⑥民間企業と連携した就業教育（学校指導課）
 - ▶民間企業による小中高生に対する講座の開催
- ⑦中小企業人材養成事業（産業振興課・労働政策課）
 - ▶中小企業者等への人材育成又は職業訓練の研修に対する支援
 - ▶グローバル人材養成セミナーの開催（再掲）
- ・認定農業者の育成・確保（農政総務課）
 - ▶農業経営改善計画の作成支援
 - ▶新技術導入についての検討会の実施
 - ▶施設整備や機械導入などのための融資や助成
 - ▶農地の集積支援
 - ▶農業研修の実施
- ・新規就農者の相談・支援（農政総務課）
 - ▶就農地等の調整、研修体制の整備等
- ・トライやる・ウィークの実施（学校指導課）
 - ▶中・特別支援学校の2年生が行う職場体験活動
- ・兵庫県立ものづくり大学校の活用促進（労働政策課）
 - ▶ものづくり大学校が実施する職業訓練や匠の後継者育成等の人材育成事業に対する支援
- ・職業訓練講座の開催（労働政策課）
 - ▶各種職業訓練講座等の実施

- ・認定職業訓練助成事業（労働政策課）
 - ▶中小企業者等が認定された職業訓練に対する支援
- ・皮革製品クリエイター育成事業（産業振興課）
 - ▶チャレンジ工房である革工房BAIMOのクリエイター育成
- ・集落営農の組織化への支援（農政総務課）
 - ▶農地の利用調整、農作業の共同化、生産コストの削減を行う活動をする組織への支援

施策④：地域の特色を活かした農林水産業等の振興

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
「豊穰の国・はりま」のブランド認証件数	— →	184件

事業・事業内容

- ㊦「豊穰の国・はりま」のブランド推進（地方創生推進室・農政総務課・水産漁港課・産業振興課）
 - ▶多彩な地場産品を選定し、地域ブランド力の向上
 - ▶情報発信と販売促進を図るためのプロモーション・キャンペーンの実施
- ㊦姫路木綿復活プロジェクトへの支援（農政総務課）
 - ▶姫路木綿によるブランド品開発、試験栽培、綿花はちみつ生産への支援
- ㊦中央卸売市場の施設整備（中央卸売市場）
 - ▶中央卸売市場の施設再整備事業の推進
- ㊦（公財）姫路・西はりま地場産業センターの事業推進（産業振興課）
 - ▶地場産業普及啓発の推進
 - ▶地場産業産地振興事業の推進
 - ▶じばさん営業力養成講座の開催
 - ▶播産館（地場産品販売所）での地場産品の展示・販売
 - ▶電子じばさん館（地場産業紹介サイト）の充実
- ㊦地場産業の高付加価値化の推進（皮革等）（産業振興課）
 - ▶皮革製品高付加価値化事業
 - ▶姫路レザーマップ作成事業
 - ▶レザーアイテム出展PR事業
- ㊦大学と連携した水産資源の養殖技術研究（水産漁港課）
 - ▶大学と連携したマアナゴ資源の研究
- ・播磨産の農林水産物の加工品化支援（農政総務課・水産漁港課・産業振興課）
 - ▶農林水産資源を活用した加工品の開発や製造についてのマッチング支援
- ・姫路市飲食店認証制度の推進（保健所衛生課）
 - ▶食の安全・安心、健康増進、地産地消を高い水準で満たしている飲食店を認証

基本目標2：学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生

【成果指標】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）・大阪府への転出超過数	560人（H26年） →	0人（H31年）
総入込客数	914万8千人（H26年度） →	1,000万人

施策⑤：都市イメージの向上

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
姫路観光コンベンションビューロー「ひめのみち」ページビュー数	658万8千件（H26年度）→	800万件
ジュニア姫路検定の参加者数	1,912人（H26年度）→	2,100人

事業・事業内容

- ①日本遺産（Japan Heritage）の認定申請・活用
（地方創生推進室・シティプロモーション推進課・文化財課）
 - ▶日本遺産に申請し、認定を活用した事業の実施
- ②シティプロモーションの推進（シティプロモーション推進課）
 - ▶国内外に向けたプロモーション活動等による誘客の促進
 - ▶フィルムコミッションを通じたロケ誘致等の推進
- ③スポーツ・コミッションの設置（スポーツ推進室）
 - ▶スポーツ大会の誘致等を推進する団体の設置
- ④東京オリンピック・パラリンピック開催等に関する取組みの推進（スポーツ推進室）
 - ▶東京オリンピック・パラリンピック事前合宿招致
 - ▶関西ワールドマスタースゲームズの誘致
- ⑤（仮称）福泊運動公園の整備推進（公園整備課）
 - ▶人口芝グラウンド、多目的グラウンド等を備えたスポーツ公園の整備
- ⑥地域貢献納税感謝状の贈呈（主税課）
 - ▶市税の納付において特に貢献が顕著であった者に対する感謝状の贈呈
- ⑦暮らしやすさのアピール（再掲）（地方創生推進室）
 - ▶移住定住リーフレットの作成
 - ▶移住定住ポータルサイトの充実
 - ▶メール等による本市の情報発信
- ⑧地域夢プラン事業の拡充（企画政策推進室・市民活動推進課）
 - ▶地域資源を活用した地域の魅力向上事業や未来継承事業への支援
 - ▶テーマや地域ごとに地域資源マップを作成・配布
- ⑨姫路の歴史文化等に愛着を持つ郷土教育（学校指導課・生涯学習課）
 - ▶本市の歴史等を学ぶ地域学習の実施
 - ▶公民館での地域講座の開催
 - ▶「はりま読本」の活用
- ⑩ジュニア姫路検定の実施（総合教育センター）
 - ▶本市の地理、文化等に関する知識や理解を深めるふるさと文化検定の実施
 - ▶ふるさとウォークラリーの拡充
- ・郷土愛を育む読み物資料の作成及び授業研究の実施（人権教育課）
 - ▶地域ゆかりの人物、自然、伝統文化等を題材にした道徳教育資料の作成と活用
- ・ふるさと納税制度の充実（主税課）
 - ▶寄附者に対するお礼として地場産業の振興を兼ねて市内で製造等された特産品を進呈

- ・全国大会等の開催支援（スポーツ推進室）
 - ▶世界遺産姫路城マラソンの継続開催
 - ▶大規模大会への開催補助
 - ▶スポーツツーリズムの推進
 - ▶地域プロスポーツクラブの支援

施策⑥：MICEの推進

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
コンベンション等の開催支援数	71件（H26年度）→	90件

事業・事業内容

- ①文化・コンベンション施設の設置・活用（シティプロモーション推進課）
 - ▶文化・コンベンション施設の内容、管理手法、事業方針等の検討
- ・国内外からのコンベンションの誘致（シティプロモーション推進課）
 - ▶市、姫路観光コンベンションビューロー、関係機関の連携による誘致活動

施策⑦：インバウンドを踏まえた観光戦略の展開

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
観光案内所（姫路観光ナビポート）での外国人観光客対応者数	12,000人（H26年度）→	20,000人

事業・事業内容

- ①（仮称）姫路市観光振興計画の策定及び推進（シティプロモーション推進課）
 - ▶交流人口の増に伴う経済循環を高め、地域活性化を推進
- ②「姫路城プラスワン」作戦の展開（シティプロモーション推進課）
 - ▶姫路、播磨の魅力あふれる観光資源の開発、PR
 - ▶国内外の誘客プロモーションへの参加
- ③日本城郭連携PR事業（シティプロモーション推進課）
 - ▶海外向けプロモーション活動等の実施
- ④姫路港大型客船入港推進事業（産業振興課）
 - ▶大型クルーズ客船の姫路港入出港にかかる航行安全の検証
- ⑤観光に関する人材育成（シティプロモーション推進課・観光振興課）
 - ▶インバウンドに関するおもてなし講座の開催・活動支援等による観光に関わる人材の育成
 - ▶観光ボランティアや観光産業に携わる民間事業者等に対する関連情報の提供
- ⑥外国人観光客の受入体制の充実（シティプロモーション推進課・観光振興課）
 - ▶姫路市観光案内所における外国語対応スタッフの充実
 - ▶案内サイン・サギマーク（看板）の整備
 - ▶外国語ホームページ、外国語観光パンフレットの充実
- ⑦広域観光ルートの検討・活用（シティプロモーション推進課・観光振興課）
 - ▶姉妹都市（松本市・鳥取市）との相互交流・相互出展
 - ▶西播磨観光協議会、歴史街道推進協議会等の広域観光団体との連携
 - ▶広域観光ルートを活用した観光事業

- ・多様な観光の推進（ナイト観光含む）（観光振興課）
 - ▶産業ツーリズムの推進
 - ▶新たな産業観光資源の発掘・開発
 - ▶夜桜会の開催
 - ▶夜間風景の掘り起こしイベントの開催
- ・歴史的資源・文化施設等のネットワーク化（観光振興課）
 - ▶官兵衛を記憶に残す「人間将棋」イベント開催
 - ▶文化観光（和船）のPR
- ・観光情報の発信（シティプロモーション推進課）
 - ▶国際観光振興機構（JNTO）での海外PR事業への参加
 - ▶国際観光振興機構（JNTO）ホームページによる外国語での情報発信
 - ▶外国語媒体（新聞・雑誌等）へのPR・情報掲載
 - ▶外国語パンフレット等の作成
 - ▶ドイツ・ノイシュバンシュタイン城との観光をテーマにした連携・交流
- ・HOT連携の推進（地方創生推進室・観光振興課）
 - ▶姫路・岡山・鳥取城下町物語推進協議会（HOT）を通じた交流の推進

施策⑧：移住・定住支援の充実

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
地域おこし協力隊の受入人数	- →	8人（H28～31年度累計）

事業・事業内容

- ⑧暮らしやすさのアピール（本掲）（地方創生推進室）
 - ▶移住・定住リーフレットの作成
 - ▶移住・定住ポータルサイトの充実
 - ▶メール等による本市の情報発信
- ⑧地域おこし協力隊の活用（地方創生推進室）
 - ▶都心部からの移住者が地域協力活動を行うことにより定住を促進
- ⑧空き家バンク、リノベーションの促進（再掲）（住宅課）
 - ▶空き家バンクの開設及び空き家のリノベーションに対する助成

施策⑨：優秀な人材の確保・活用と多様な人々の就労や登用の支援

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
阪神地域の大学内合同就職説明会の参加企業数	- →	15社

事業・事業内容

- ⑨男女共同参画等を推進する企業への優遇策の検討（契約課・男女共同参画推進課）
 - ▶市が行う入札の優遇策等の調査・研究
- ⑨阪神地域の大学への姫路市内企業のPR（労働政策課）
 - ▶大学内で行う市内企業の就職説明会の支援

- ⑧ 合同就職説明会・面接会等の開催支援（労働政策課）
 - ▶ 大学生や第二新卒者等を対象とした合同就職面接会に対する支援
 - ▶ 四国等の大学生に対するバスツアーを関係機関と連携して実施
- ⑨ 小中一貫教育の推進（学校指導課）
 - ▶ 中学校ブロックを核とした「学力」の向上と「人間関係力」の育成
 - ▶ 児童生徒・教職員を対象とした意識調査
 - ▶ 義務教育学校設置の検討
- ⑩ 魅力ある学校図書館づくり（学校指導課）
 - ▶ 学校司書の配置
 - ▶ 読書活動、調べ学習への支援
 - ▶ NIE※推進への支援
 - ▶ 公立図書館や地域ボランティアとの連携
- ⑪ 大学研究活動等への支援（企画政策推進室）
 - ▶ 市内大学又は包括連携協定を締結している大学の研究活動への支援
- ・ 市内4大学の連携促進（企画政策推進室）
 - ▶ 四大学連携会議の開催
 - ▶ シニアオープンカレッジの実施
- ・ 駅前サテライト大学の利用促進（企画政策推進室）
 - ▶ 市民向け公開講座等の実施支援
- ・ 郷土資料デジタルアーカイブス事業（城内図書館）
 - ▶ 郷土資料デジタルアーカイブスシステムの構築
（名称 ふるさとはりまデジタルアーカイブ）
- ・ 女性のチャレンジ支援（男女共同参画推進センター・労働政策課）
 - ▶ 個別相談の実施
 - ▶ 起業・就業支援に関する講座の開催
 - ▶ 女性のチャレンジに関する情報提供（チャレンジひろばの運営）
- ・ わかものジョブセンターの運営（労働政策課）
 - ▶ 面接対策等のキャリアカウンセリングや就職相談、就職支援セミナーの実施
- ・ ひめじ若者サポートステーションの活動支援（労働政策課）
 - ▶ ニートやひきこもり等の若年無業者に対する相談業務や各種講座等の実施
- ・ ジョブトライアル事業（未就職学卒者等就職支援事業）（労働政策課）
 - ▶ 未就職学卒者、第二新卒者等に対して派遣会社を活用したOFF-JT※やOJTを実施し、市内中小企業への就職を支援
- ・ 障害者の一般就労への移行促進（障害福祉課）
 - ▶ 障害者就業促進・安定化事業の実施
 - ▶ 就労支援の充実

基本目標3：生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生

【成果指標】	(現在値)	(平成31年度末時点の数値)
高齢者（65～74歳）の有業率	30.6%（H24年）	→ 32%（H29年）
健康寿命	男性77.84歳、女性82.45歳（H25年）	→ 1年延伸

施策⑩：社会貢献活動の促進

【重要業績評価指標（KPI）】	(現在値)	(平成31年度末時点の数値)
生涯現役人材バンクの活用件数	46件（H26年度）→	75件

事業・事業内容

- ⑩地域の新しい担い手づくりの推進（本掲）（市民活動推進課・生涯現役推進室）
 - ▶地域活動リーダーを養成するための講座等の開催
 - ▶地域ボランティアを養成するための講座等の開催
 - ▶結婚希望者を支援する人材を養成するための講座等の開催
- ・市民活動・ボランティアサポートセンターの充実（市民活動推進課）
 - ▶センター事業の充実とコーディネート機能の強化
- ・研修会、講座の開催（市民活動推進課）
 - ▶市民活動に関する研修会、講座等の開催
- ・安心して暮らし続けるためのボランティア活動の充実（地域包括支援課）
 - ▶認知症地域見守り訪問員による活動
 - ▶認知症サポーターやあんしんサポーター等の養成・活動
- ・食生活改善ボランティアリーダーの養成（保健所健康課）
 - ▶姫路いずみ会の育成支援及びリーダー養成講座の開催
- ・生涯現役人材バンクの運営（生涯現役推進室）
 - ▶知識や経験、技術を持つ高齢者を登録しその能力を求める市民とのマッチング
- ・生涯現役推進専門員制度の推進（生涯現役推進室）
 - ▶生涯現役に関する相談に応じ、活動のコーディネートを行う専門員の配置
- ・地域活動指導者の養成（生涯学習大学校）
 - ▶高齢者等に対するパソコン指導者養成講座の開催
- ・高齢者向け運動指導者養成講習会の開催（スポーツ推進室）
 - ▶スポーツ大学講座、指導養成講習会の開催

施策⑪：高齢者の就業・起業への支援

【重要業績評価指標（KPI）】	(現在値)	(平成31年度末時点の数値)
シルバー人材センターの会員数	3,265人（H26年度）→	3,590人

事業・事業内容

- ⑪高齢者のニーズに合う新しい就労の仕組みづくり（生涯現役推進室・労働政策課）
 - ▶高齢者のニーズに合う新しい就労の仕組みづくりの調査研究
- ・シルバー人材センターへの支援（労働政策課）
 - ▶シルバー人材センターに対する事業費等の助成
- ・雇用アドバイザーの活用（雇用相談・情報提供）（労働政策課）
 - ▶雇用相談や求人情報の提供、専門家による労働相談

施策⑫：健康づくり活動の推進

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
ニュースポーツ普及事業助成数	33.7校・地区（H24～26年度平均値）	→ 43校・地区
介護予防自主活動グループ数	197グループ（H26年度末）	→ 520グループ
要介護・要支援認定者に占める要介護認定者数の割合	63.2%（H26年度）	→ 60.7%

事業・事業内容

- ㊦健康ウォーキングマップ作成事業（スポーツ推進室）
 - ▶ウォーキングマップを播磨圏域含め校区ごとに作成
- ㊦在宅医療・介護の連携推進（地域包括支援課）
 - ▶（仮称）在宅医療・介護連携支援センターの設置
 - ▶医療・介護サービスの連携による包括的・継続的な提供体制の構築
 - ▶医療・介護連携手帳の活用
- ㊦地域包括支援センターの充実（地域包括支援課）
 - ▶高齢者の健康・介護・権利擁護等の相談及び支援
 - ▶市直営の基幹型地域包括支援センターの設置
- ・地域スポーツ振興事業の実施（スポーツ推進室）
 - ▶各校区スポーツクラブ21が行う各種イベントの支援
- ・地域スポーツクラブの活動支援（スポーツ推進室）
 - ▶姫路市スポーツクラブ21協議会を通じたクラブ相互の交流事業
- ・ニュースポーツ地域普及事業の実施（生涯現役推進室）
 - ▶老人クラブが実施するニュースポーツの普及事業に対する助成
- ・生涯現役体操の普及（生涯現役推進室）
 - ▶「生涯現役ガンバルンバ体操」のパンフレットやDVDの配布、教室の開催
- ・高齢者の自主的な健康づくり活動への支援（地域包括支援課）
 - ▶地域の介護予防自主活動グループに対する支援
- ・介護予防普及啓発事業の実施（地域包括支援課）
 - ▶介護予防に必要な自助互助活動の普及・啓発
- ・健康増進のための啓発・教育・相談の充実（保健所健康課）
 - ▶望ましい生活習慣についての知識を普及させるための健康教育や健康相談の実施

基本目標4：出産、子育てにやさしい社会を創生

【成果指標】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
合計特殊出生率	1.55（H26登録人口ベース）	→ 1.65（H31登録人口ベース）
女性（30～39歳）の有業率	67.2%（H24年）	→ 71%（H29年）
「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	46.2%（H23年度）	→ 70%（H29年度）

施策⑬：ライフステージに応じた切れ目のない支援

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
妊婦本人への面接率	96.8%（H26年度）→	100%
保育所等利用待機児童数	69人（H27.4.1）→	0人
ファミリーサポートセンターの提供会員及び両方会員数	718人（H26年度）→	790人

事業・事業内容

- ㊦第2子の保育料軽減事業の実施（こども保育課）
 - ▶国の所得制限で補助対象から外れる第2子の保育料等を軽減
- ㊦子育て世帯に対する家賃助成（住宅課）
 - ▶民間賃貸住宅に入居する子育て世帯に対する家賃助成
- ㊦妊娠・出産包括支援の充実（保健所健康課）
 - ▶妊婦健康診査への助成
 - ▶母子保健総合相談支援事業（全妊婦面接相談支援事業、妊娠・出産包括支援ネットワークの構築）
 - ▶産後ケア事業（宿泊型、通所型、訪問型）の実施
- ㊦放課後児童健全育成事業の充実（こども政策課）
 - ▶支援員の育成
 - ▶施設整備及び備品等の配置による生活環境の充実
 - ▶放課後児童クラブ運営について民間事業者の活用
 - ▶時間延長施設の拡大
- ㊦保育士確保対策の推進（こども政策課）
 - ▶保育士資格・幼稚園教諭免許状を両方取得するための助成
 - ▶保育士再就職支援研修の実施
- ㊦緊急時等における子育て支援の充実（こども支援課）
 - ▶ファミリーサポートセンター事業の充実
 - ▶病児・病後児保育事業の推進
- ㊦地域子育て支援拠点事業の充実
（総合福祉通園センター・こども支援課・こども保育課・星の子ステーション）
 - ▶子育てに関する相談・講習・情報提供
 - ▶子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ㊦児童センターを活用した子育て支援事業の充実（星の子ステーション）
 - ▶講師派遣を通じた地域の子育て支援団体の育成
 - ▶子育てに関する相談
- ・教育・保育の提供体制の計画的な確保（こども政策課・こども保育課・教育委員会総務課・学校施設課）
 - ▶保育所等の提供体制確保の取組みの推進
 - ▶認定こども園制度の推進
 - ▶子ども・子育て会議の運営
- ・利用者支援事業の実施（こども支援課・こども保育課・保健所健康課）
 - ▶保育所等の施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び相談

- ・市立幼稚園の3歳児保育のモデル実施（教育委員会総務課・学校指導課）
 - ▶市立幼稚園の3歳児保育のモデル実施
- ・就学前教育と小学校教育の連携推進（こども保育課・学校指導課）
 - ▶共通カリキュラムの推進
 - ▶就学前教育と小学校教育の連携推進
 - ▶市立幼稚園と市立保育所の連携推進
- ・乳幼児等・こども医療費の助成（地域福祉課）
 - ▶中学生以下の子どもの医療費に対する助成

施策⑭：子ども・子育てを見守る地域活動の維持

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
コミュニティ活動イベント開催助成事業の実施地区数	64地区（H26年度）→	全72地区
スクールヘルパーへの登録者数	15,887人（H26年度）→	16,000人

事業・事業内容

- ④地域の新しい担い手づくりの推進（再掲）（市民活動推進課・生涯現役推進室）
 - ▶地域活動リーダーを養成するための講座等の開催
 - ▶地域ボランティアを養成するための講座等の開催
 - ▶結婚希望者を支援する人材を養成するための講座等の開催
- ・コミュニティ活動に対する助成（市民活動推進課）
 - ▶地域団体が実施するコミュニティ活動等に対する助成
- ・スクールヘルパー制度の充実（健康教育課）
 - ▶地域ボランティアが行う登下校時の声かけ・校内巡回等の活動
- ・こども見守り隊事業の推進（危機管理室）
 - ▶地域の学校及び子どもを地域全体で見守る事業に対する助成

施策⑮：仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
ワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の回数	8回（H26年度）→	10回

事業・事業内容

- ④男性の育児参加の促進（男女共同参画推進課）
 - ▶男性向け育児啓発パンフレットを作成・啓発
- ・ワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の開催（男女共同参画推進センター）
 - ▶仕事の効率化等を学ぶセミナーの開催
- ・仕事と家庭が両立できる職場環境づくりの促進（男女共同参画推進センター・産業振興課・労働政策課）
 - ▶情報誌「ファイル」を活用した先進的事業所の取組みの紹介
 - ▶ワーク・ライフ・バランスに関する広報・啓発活動の実施

基本目標5：播磨の中核都市として魅力ある都市・圏域を創生

【成果指標】	(現在値)	(平成31年度末時点の数値)
播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の進捗率	—	→ 100%
公共交通機関の乗車人員	156,102人 (H26年度)	→ 165,859人
中心市街地の居住者数	8,732人 (H22～26年度末平均値)	→ 8,894人

施策⑯：連携中枢都市圏構想による圏域の活性化

【重要業績評価指標 (KPI)】	(現在値)	(平成31年度末時点の数値)
播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の進捗率	—	→ 100%

事業・事業内容

- ・播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンの推進 (地方創生推進室)
 - ▶ 播磨圏域8市8町の連携による圏域の魅力の向上

施策⑰：地域課題克服による日常生活圏の充実

【重要業績評価指標 (KPI)】	(現在値)	(平成31年度末時点の数値)
空き家バンク登録物件数	—	→ 40件
買物支援サービス事業の登録者数	38人 (H27.4.1)	→ 50人
地域活動に対する支援 (地域防災訓練) 件数	503件 (H26年度)	→ 700件

事業・事業内容

- ⑯空き家バンク、リノベーションの促進 (本掲) (住宅課)
 - ▶ 空き家バンクの開設・情報発信
 - ▶ 空き家のリノベーションに対する助成
- ⑯地区計画制度の活用 (都市計画課)
 - ▶ インターチェンジや駅周辺で地区計画を活用し、まちづくりを推進
- ⑯特別指定区域制度の活用 (まちづくり指導課)
 - ▶ 市街化調整区域の既存集落において特別指定区域を指定し、地域の活性化に必要な住宅等の立地が可能
- ⑯夢前スマートインターチェンジの利活用の促進 (北部建設事務所)
 - ▶ 道路休憩施設の設置
 - ▶ 「食と農で結ぶ夢街道づくり実行委員会」への参加
- ⑯下水汚泥の有効活用 (下水道管理センター)
 - ▶ 下水汚泥の有効活用のための調査研究
- ⑯家島・坊勢島間の離島航路の維持 (交通計画室)
 - ▶ 家島・坊勢島間の航路維持のための協議会の設置・運営
 - ▶ 家島・飾磨間等の旅客船の乗船券及び定期券の共通化に向けた調査
- ⑯坊勢地区医療施設の再整備 (保健福祉政策課)
 - ▶ 坊勢地区の診療所の移転・開設
- ⑯坊勢旅客ターミナルの施設整備 (家島事務所)
 - ▶ 待合所、トイレ、情報発信施設等の整備

- ④環境意識の啓発事業（環境政策室）
 - ▶ ライトダウンキャンペーンの実施
 - ▶ 緑のカーテンコンテストの実施
 - ▶ 環境フェスティバルの開催
 - ▶ 環境ヒーローによる環境学習の実施
 - ▶ 生物多様性保全事業
 - ▶ 環境学習センターの整備
- ④買物支援サービス事業（高齢者支援課）
 - ▶ 買物不便地域における買物送迎バスに対する助成
- ④生活圏を結ぶネットワークの構築（交通計画室）
 - ▶ 家島・坊勢地域、夢前・安富北地域等におけるコミュニティバスの運行
 - ▶ バスロケーションシステムの活用と利用促進
 - ▶ パーク＆ライド※等の推進
- ④水道事業経営戦略に基づく施設耐震化等の推進（水道局建設課・浄水課）
 - ▶ 経営戦略に基づく施設及び管路の更新、浄水場運転管理業務の民間委託の推進
- ④消防団活動の活性化の推進（消防局総務課）
 - ▶ 「スマート消防団にズームイン！」（一般市民の消防団体験）の開催
- ・地域コミュニティ活動の拠点としての公民館の活用（市民活動推進課・生涯学習課）
 - ▶ 教養講座、地域講座、文化講座の実施
 - ▶ リーダー育成の集い、学習発表会の実施
- ・地域コミュニティ支援の充実（自治会業務の補助員制度）（市民活動推進課）
 - ▶ 自治会の事務補助員に対する助成
- ・地域防災マップづくり（危機管理室）
 - ▶ 各地区連合自治会による地域防災マップづくりへの支援
- ・避難所受け入れ体制の整備（危機管理室）
 - ▶ 市指定避難所への避難所開設用品の設置
- ・ハザードマップ等を活用した災害危険情報の周知（危機管理室）
 - ▶ 防災活動の普及啓発
 - ▶ 防災ハンドブックの配布
- ・地域活動に対する支援（危機管理室）
 - ▶ 消火、避難通報、器具取扱、応急手当等防災訓練指導
 - ▶ 自主防災会に対する防災資機材の支援
 - ▶ 自主防災会が実施する訓練資機材等の購入
- ・製鉄記念広畑病院姫路救命救急センターの運営支援（保健福祉政策課）
 - ▶ 救命救急センターの安定的な運営の確保
- ・後送医療機関におけるベッド及び医療従事者の確保（保健福祉政策課）
 - ▶ 休日・夜間急病センターで対応できない重症患者を受け入れる後送医療機関の確保

- ・医療系高等教育・研究機関の整備に係る検討（企画政策推進室・保健福祉政策課）
 - ▶ イベントゾーン※の高等教育・研究エリアへの導入機能等の検討
- ・中核的医療機関の統合再編に係る医療機能の検討（保健福祉政策課）
 - ▶ 県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編に係る医療機能の検討
- ・臨床研修医への奨励金貸与（保健福祉政策課）
 - ▶ 臨床研修医への奨励金貸与による医師の養成及び確保
- ・総合診療夏季セミナーの開催（保健福祉政策課）
 - ▶ 地域医療に関する医学生向けセミナーの実施
- ・救急ワークステーション事業（消防・救急課）
 - ▶ 救急隊が出場体制で病院に常駐し、実習を行い、医療機関との連携強化を図る事業の実施
- ・JR東姫路駅の活用（用地対策課・街路建設課・鉄道駅周辺整備室）
 - ▶ 駅施設・駅前広場・周辺道路の整備
- ・市内鉄道駅周辺整備の推進（鉄道駅周辺整備室）
 - ▶ JR溝口駅、山陽電鉄白浜の宮駅の周辺整備推進
 - ▶ 山陽電鉄大塩駅の構造改良及び駅周辺整備の推進
 - ▶ JR姫路・英賀保間新駅構想の推進
 - ▶ JR英賀保駅の橋上駅舎化推進
 - ▶ 山陽電鉄飾磨駅周辺のまちづくり検討
- ・地方路線バス維持事業（交通計画室）
 - ▶ 民営バス路線維持確保対策事業
- ・まち美化運動の推進（美化業務課）
 - ▶ 全市一斉清掃の推進
- ・路上喫煙禁止に向けた取組みの推進（美化業務課）
 - ▶ 禁止区域における路上喫煙禁止の周知、啓発

施策⑱：高次都市機能の集積等による中心市街地活性化の強化・推進

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
中心市街地商店街の空き店舗減少数	37店舗（H26年度）→	9店舗減少

事業・事業内容

- ① 特区によるコミュニティサイクルの推進（交通計画室）
 - ▶ 国家戦略特区を活用した歩道上サイクルポートの設置
 - ▶ レンタサイクル（姫ちゃり）の実施
- ② 優良建築物等整備事業の推進（都市計画課）
 - ▶ マンション建替え等の優良建築物等の整備に対する助成
- ③ JR姫路駅南側の環境整備（姫路駅周辺整備室）
 - ▶ JR姫路駅南駅前広場等の整備による交通結節機能の強化
- ④ まちなか遊休不動産等の活用促進（産業振興課）
 - ▶ リノベーションスクール等の開催

- ⑩Wi-Fiサービスの向上（産業振興課）
 - ▶ 中心市街地商店街における公衆無線LANサービスの向上
- ⑪回遊性を高める大手前通りの再整備（街路建設課）
 - ▶ 安全で快適な交通環境のための歩道拡幅や自転車通行空間の整備
 - ▶ 賑わいを創出するためのオープンカフェ等が可能な道路空間の整備
- ・ イベントゾーンの整備（企画政策推進室・姫路駅周辺整備室）
 - ▶ イベントゾーンの高等教育・研究エリアへの導入機能等の検討
 - ▶ 文化・交流施設及びコンベンション・展示施設等の整備
- ・ コアゾーン※の整備（姫路駅周辺整備室）
 - ▶ コアゾーンの整備促進
 - ▶ 歩行者デッキ等の整備
 - ▶ まちづくり協議会の運営
- ・ 手柄山中央公園の再整備に向けた検討（公園緑地課）
 - ▶ 手柄山中央公園整備計画に基づく事業化の検討
- ・ 姫路城周辺の公共施設の整備（企画政策推進室・姫路城総合管理室・文化財課）
 - ▶ 姫路城跡中曲輪において特別史跡にふさわしい公共公益的施設の整備等について検討
- ・ 中心市街地商店街空き店舗対策事業（産業振興課）
 - ▶ 中心市街地商店街の空き店舗への出店者に対する助成
- ・ 中心市街地における駐輪対策の推進（建設総務課）
 - ▶ 短時間駐輪に対応した駐輪施設の整備

施策⑱：行政マネジメントの強化

【重要業績評価指標（KPI）】	（現在値）	（平成31年度末時点の数値）
地方創生にかかる意見聴取者数	— →	400人（H28～31年度累計）
行政情報分析基盤を活用する組織数	— →	9部署（H29～31年度累計）

事業・事業内容

- ⑫姫路市公共施設等総合管理計画の推進（行財政改革推進室）
 - ▶ 公共施設等の老朽化等への対応や維持管理経費の抑制の推進
- ⑬業務改革に向けた行政情報分析基盤の構築（情報政策課）
 - ▶ ビッグデータ※活用による行政マネジメントの向上
- ⑭地方創生に関する市民対話の充実（地方創生推進室）
 - ▶ ワールド・カフェ方式を活用した若者が参画し連携するタウンミーティング
- ⑮ひめじ創生チャレンジ事業（地方創生推進室）
 - ▶ 提案事業を試験的に実施し、翌年度以降事業化を検討

6. 推進体制

事業の推進にあたっては、市民との協働や産官学金労言の連携がより活発になるよう創意工夫に努め、下記の体制で取り組む。

(1) ひめじ創生推進本部

全庁を挙げて事業を推進するため、庁内組織として「ひめじ創生推進本部」を設置する。

ひめじ創生推進本部は、市長を本部長とし、市長の強力なリーダーシップのもと戦略を推進する。

(2) ひめじ創生戦略会議

有識者の専門的見地や市民目線から提言と評価を行うため、市長附属機関として、「ひめじ創生戦略会議」を設置する。

ひめじ創生戦略会議の委員は、市民をはじめ、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア（産官学金労言）で構成する。

(3) 市民対話の充実

地方創生に関する市民対話の場を創出し、多くの市民からの意見聴取を行うとともに、施策・事業に反映させる。

(4) 進行管理

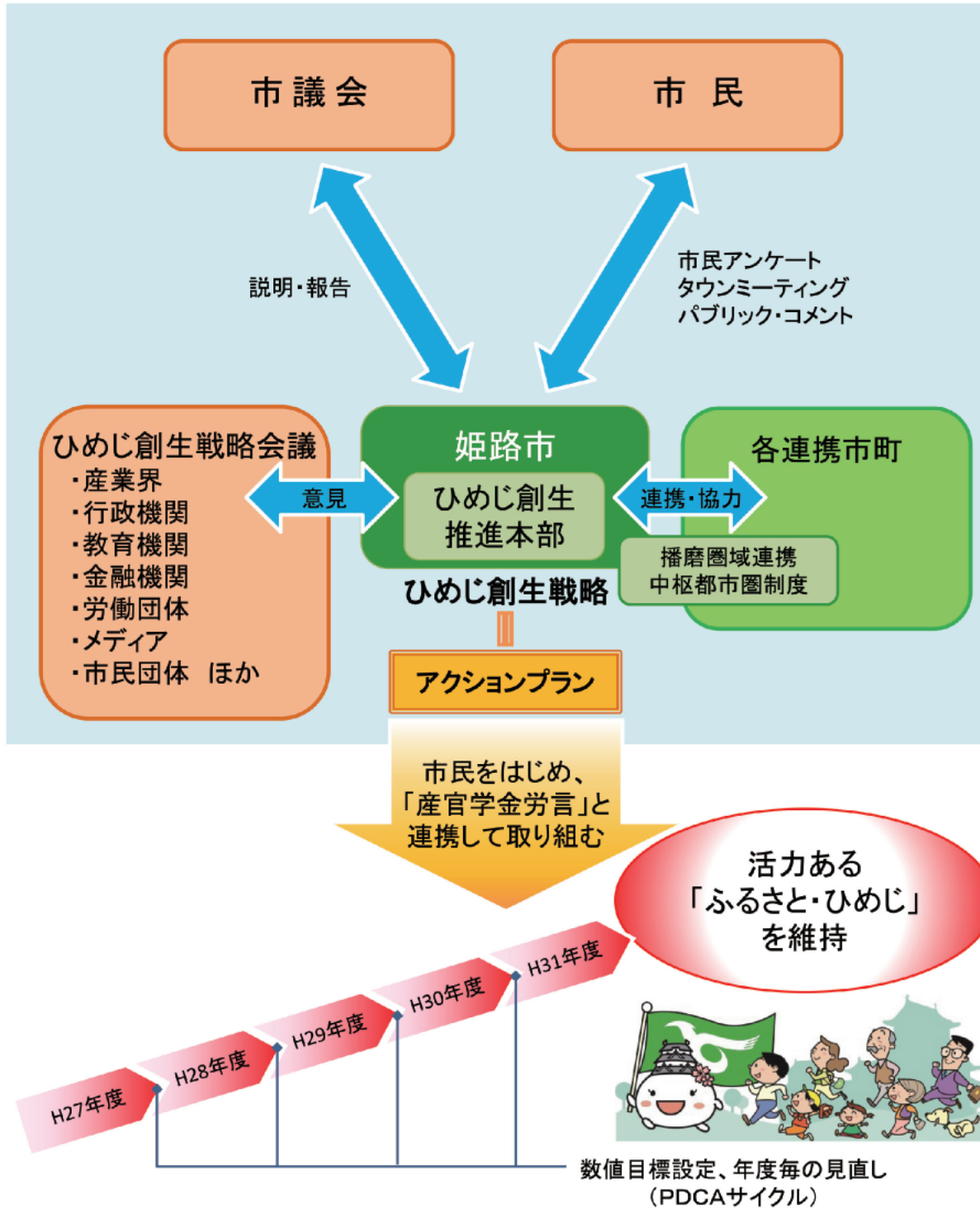
計画（PLAN）、実行（DO）、考察（CHECK）及び改善（ACTION）を重視する「PDCAサイクル」により進行管理を行う。また、各段階において現状把握・分析を行うことによって、早い段階で修正を図れるようにする。

現状把握・分析については、ひめじ創生戦略会議の意見や市民対話の活用等により、広く市民意見を捉える。さらに、本市を取り巻く社会経済情勢等を分析し、取組みの方向性を明確にする。

「PDCAサイクル」の過程で、「A（改善）」における取組み及び手法の見直しを「P（計画）」に反映させることより、戦略の内容を充実し、スピード感を持って取り組むことを目指す。

具体的には、年度ごとに個々の取組み進捗状況や内容について評価・考察し、必要に応じた見直しを行う。

ひめじ創生戦略推進体制



用語解説（50音順）

空き家バンク（→P.4）

主に自治体が、所有者と利活用希望者を結びつけ、空き家の有効活用を促進する制度。

入込客（→P.3）

姫路市内の観光地及び行祭事・イベントなどを訪れた来訪客、入場者のこと。宿泊・日帰りの区別はなく、総数として動向を調査。

インバウンド（→P.3）

ここでは訪日外国人旅行もしくは訪日外国人旅行者を指す。

コアゾーン、イベントゾーン（→P.22,21）

鉄道高架事業により、JR姫路駅の東側に新たに生み出された街区。コアゾーンは新たな高次都市機能が集積する商業・業務拠点と位置付けられており、イベントゾーンには、「知と文化・産業の交流拠点」をコンセプトに、「文化・交流活動の拠点機能」、「創造・交流活動を支援する機能」、「展示機能」、「会議・コンベンション機能」及び「高等教育・研究機能」の導入が計画されている。

高次都市機能（→P.4）

都市機能のうち、日常生活圏を超えた広域の人々を対象に、質の高いサービスを提供する機能。

コンベンション（→P.3）

国際機関・団体、学会等が行う国際会議。広義には集会や会議、大規模な見本市や催し物などの総称。

スクールヘルパー（→P.4）

姫路市では平成16年度に「スクールヘルパー制度」が始まり、学校安全ボランティアとして学校の安全確保に組織的に取り組んでいる。

パーク&ライド（→P.20）

交通混雑を緩和するため、最寄りの駅やバス停までは自動車を利用し、途中で電車やバスなど公共交通機関に乗り換えて目的地まで移動する方式。

ビッグデータ（→P.22）

明確な定義はないが、多様な種類・形式が含まれ、時系列性・リアルタイム性のある大容量のデータを指すことが多い。音声や画像、動画などのマルチメディアデータ、GPSやICカードにおいて検知される位置、乗車履歴といったデータなども含まれる。

UIJターン (→P.5)

都市の居住者が地方に移住する動きの総称。

遊休不動産 (→P.6)

ほとんど有効活用されていないビルや空き家、土地、廃校等。

有業率 (→P.4)

15歳以上の人口に占める有業者（ふだんの状態で収入を得ることを目的として仕事をしており、今後も続ける予定の者及び仕事は持っているが現在仕事を休んでいる者）の割合。

リノベーション (→P.5)

中古住宅や空き家・空き店舗に対し、その良さを活かしながらライフスタイルに合った包括的な改修・活用を行うことで価値を高める。

連携中枢都市圏 (→P.4)

地域において、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が「連携中枢都市宣言」を行い、近隣の市町村と連携協約を締結することにより形成される圏域。人口減少・少子高齢社会においても、コンパクト化とネットワーク化により一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点形成を目的とする。

MICE (→P.3)

企業等の会議 (Meeting)、報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字をとった造語。地域への大きな経済効果や新しいビジネス、イノベーションへのつながりが見込まれるビジネスイベントの総称。

NIE (Newspaper in Education) (→P.14)

学校などで新聞を教材として活用すること。

OFF-JT (off the job training) (→P.14)

業務命令に基づき、通常の業務を一時的に離れて行う教育訓練 (研修)。

ひめじ創生戦略
～ふるさと・ひめじにプラスワン～
〔アクションプラン〕

平成28年(2016年)3月

■発行/姫路市 市長公室 地方創生推進室
〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地
TEL(079)221-2832

http://www.city.himeji.lg.jp/s10/2212381/_33984.html